

まちづくり市民円卓会議で議論した
主な論点と目標

論点	目標
自然・緑	自然を次世代に残し、市街地の中にも生態系をつくる
環境	公害の歴史を再認識し、地球環境にやさしいまちづくり
移動	人が主役・だれもが移動できる
都心・交流	みんなが交流し、わくわくする中心市街地づくり
資源再生 歴史・文化	四日市の貴重な資産を大切に、循環型社会を目指す
社会の仕組み	合意形成のあるまちづくり



論点別に市民からの
意見を評価、検討

「望ましい生活像」を 四つの世代ごとに議論

「まちづくり市民円卓会議」では、論点を整理して目標を左のようにまとめました。その上で、それぞれの論点について市民は何を求めているのか、実現に向けて具体的にだが、どう行動すればよいかなどの議論を重ねました。その過程で、提言を行う前提として、市民の「望ましい生活像」をまとめることにしました。

生活像は多様であるため、人生のステージを四つの世代に分け、それぞれのステージでの望ましい生活像をまとめました。その内容は下表の通りです。

子どもの世代 私たちはまちで学び、まちで育つ

探検しよう、体感しよう、抱きしめてもらおう

私たちは、生き生きと駆け回り、全身で学ぶことができ、いろいろなことにチャレンジできるまちで育ちたい。疲れた時や悩んだ時、温かく包んでくれる、ホッとひと息つかせてくれる、自信を取り戻させてくれる、そんな場所があり、人がいるまちがいい。

子育て世代 みんなでまちを楽しもう

家族のつながりを大切にしながら、「まち」や「社会」に参加します

私たちは、三世代の家族のつながりや、職場、友人など仲間とのつながりを大切に、家族や仲間と過ごす中でまちに関わったり、地域の活動などに参加したりして、まちで活動し、生活することを楽しみたい。

壮年の世代 世話やきおじさん・おばさんになる

新しいコミュニティの中で新しい人生に向けてステップアップ

私たちは、時間的に余裕も生まれ、各世代のリード役を担い、社会のリーダーとして活躍したいと思っています。第二の人生を控え意識改革をして、男性も女性も積極的に地域社会にかかわっていききたい。

高齢の世代 人生の達人は自立して活動しいつまでも輝きます

社会とかがわり続け、「まち」と共に豊かな新しい人生を歩みます

私たちは、社会の一員として自立して活動し、歴史や文化、自然を愛する価値観を伝承する語りべや生き字引の役割を果たしていきます。また、自然を満喫できるまちのために活動し、社会とかがわり続けていきたい。

市民と行政が一体となつて 「都市計画マスタープラン」策定へ

市では、「まちづくり市民円卓会議」の提言づくりと並行して、行政としても市民のみなさんの意見を検討しています。そして、円卓会議の提言と行政が検討したものを合わせて、「都市計画マスタープラン」策定に反映していきます。新しい四日市市を目指した「住み続けたい」なるまちづくりは市民と行政が一体となって進めていきます。



●この特集のお問い合わせは、都市計画課(☎ 54 - 8194)へ
E-mail / toshikeikaku@city.yokkaichi.mie.jp

ポートビルから見たまちの風景